

きのくに学力定着フォローアップ計画書

学 校 名	和歌山市立福島小学校	校長名	嶋 本 憲 司
1 学力に関する現状			
・平成27年度学力・学習状況調査では、すべての調査で全国平均より高い正答率であった。また、県学習到達度調査でも、卒業した6年生は高い正答率であったが、現在の5・6年生は県平均より10ポイント前後低い正答率であった。 ・児童質問紙では、テレビを見たりゲームをする時間は、改善しつつあるがまだ多いのに対し、家庭における復習（自主学習）は定着するに至っていない。			
2 取組内容			
・朝の読書タイムや家庭での読書など、本を読む機会を多くする取り組みを継続する。 ・基礎基本の定着を図るため、水曜日の5限に4～6年生における「基礎学力向上の時間」を継続する。全学年において学力向上タイム「けいこの時間」を週4回（計60分）実施し、基礎基本の定着を図る。放課後の「フォローアップ」の時間を週2回実施し、宿題のフォローや児童個々の弱点をサポートする。 ・宿題以外の「家庭学習（自主学習）」の実施の定着を図る。 ・「早め、早起き、朝ご飯、体を使って外遊び、家庭学習（復習）」を掲げ、保護者に対して生活改善や家庭学習の習慣の定着を図るための協力を依頼する。 ・学習時間における「めあて」「課題」「振り返り」等を児童が把握できるように、板書等の工夫を行う。			
3 具体的な方策とその時期			
第1回：授業観察による指導方法の実態把握と指導助言（5月下旬） 第2回：師範授業の実施と授業を行う際の留意事項の講和（6月上旬） 第3回：研究授業参観と協議会での助言（6月中旬） 第4回：研究授業参観と協議会での助言（6月下旬） 第5回：研究授業参観と協議会での助言（7月上旬） 第6回：研究授業参観と協議会での助言（9月下旬） 第7回：研究授業参観と協議会での助言（10月中旬） 第8回：研究授業参観と協議会での助言（11月上旬） 第9回：研究授業参観と協議会での助言（11月中旬） 第10回：授業観察による指導方法の実態把握と指導助言（2月上旬）			
4 取組の成果の把握及び検証の手立て			
・管理職による授業参観を実施し、共通理解した指導助言内容どおりの改善が図られているかを確認する。 ・学校関係者評価委員等に授業を参観してもらい、評価を受ける。 ・児童へのアンケート調査（学習・生活）を実施し分析する。			
5 取組の成果の公表・普及の方法			
・「ホームページ」等を使って、保護者や地域の方々に成果等を公表していく。 ・指導助言いただいた内容を全教員で共通理解し、今後の指導に生かしていく。			